



学校だより

ウルムス

令和 3年 1月 6日
横浜市立釜利谷南小学校

1 月 号

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

校長

田中さくら

迎春 丑年 睦月



2021年 今年もよろしくお願ひいたします。

コロナ禍の感染拡大、異種型も進出、緊急事態宣言とは裏腹に、晴天の穏やかな新年を迎えました。

今年は丑年です。丑(牛)は昔から農作業には欠かせない働きをして、勤勉によく働く姿から「誠実さ」を象徴しているとも言われています。また学問の神様と言われる菅原道真を祀る太宰府天満宮や京都の北野天満宮にも、牛の像が多く見られます。

5年生と6年生の早生まれのお子さんが年女・年男に当たります。丑は12支の中では、大きい体で頼もしいが、穏やかで優しく、決めたことを着実に一步一步進めていく誰からも信頼される性格だと聞いています。あまり欲がなく、子(ねずみ)に干支の順番を譲ってしまうようなお人好しの面もありますが、優しく頼もしい責任感の強いリーダーに向いているとも聞きました。子どもたちを見守っていても思い当たるところが多くあります。これから釜利谷南小学校のリーダーとして活躍して欲しいと思います。

先月12月には、今年度最後の個人面談に、寒い中にもかかわらず多くの保護者の皆様に来校いただき、誠にありがとうございました。学校再開からの学習や生活の様子を担当からお伝えし、成績通知票もお渡しすることができ、保護者の皆様からのお子さんのご家庭での様子もお聞きすることで、一人一人のお子さんの成長や今後の課題も確認でき、どの担任にとっても充実した有意義な時間となりました。

さて冬休みが明けて、緊急事態宣言下ではありますが、学校は、後期の後半としてスタートしました。今のところ休校・休業はないとされていますが、ご家族の状況もありますので、登校が心配なご家庭は、ご連絡いただき、対応を考えていきたいと思ひます。遠慮なくご相談ください。

1月は、旧暦で「睦月」といい、昔から「親族一同が集う月(睦月=むすびつきの月)」という意味もあるようです。今年の冬休みは帰省もできず、親戚が集まることのできない異例のお正月だったのでないでしょうか。距離は離れていても心は近くに寄り添ってと、年賀状や電話、ビデオレターやテレビ電話、ズームなどのリモートでのコミュニケーションをとっているご家庭も多かったのではないのでしょうか。

12月の児童集会では、運営委員の児童があいさつ運動について、体育館ステージで楽しい劇にしたり、看板を掲げたりして、とてもよい報告をしてくれました。昨年のあいさつのテーマは「㊟すんで・㊟いての目を見て・㊟んきよく・㊟れにでも」のすあげだで地域の方々にも覚えていただけたものですが今年、「㊟んな人にも・㊟れいぎ正しく・㊟つを避けて・ふ㊟いての目を見て・㊟ーシャルディスタンス」のコロナバージョンでのドレミファソになりました。今までのように友達とハイタッチやハグ、手をつなぐなどはできないけれど、マスクで隠れない瞳を見て、アイコンタクトが取れば、相手に「なんだか元気がないような、つめたいような」とは感じさせないあいさつができるのではないかという思ひです。

保護者の皆様には、お忙しい中で、メール配信での学校評価アンケートにつきまして、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後の学校教育活動につながる貴重なご意見、ご感想、ご助言を数多くいただくことができました。今後とも皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。